Panasonic

据付(電気)工事説明書

多機能ワイヤードリモコン

品番 **CZ-10RT5**

据付工事説明書をダウンロードできます。
QR コードから多機能ワイヤードリモコン（CZ-10RT5）のページにアクセスします。

https://hvac.panasonic.com/search/link.do?pid=

「品番検索」欄に「CZ-10RT5」と入力し、据付工事説明書をダウンロードしてください。

QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

- 「据付(電気)工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。**特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。**
- 据付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認してください。また、「据付(電気)工事説明書」は、「取扱説明書」とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。
- 移設、修理の場合は「据付(電気)工事説明書」を工事担当の方へお渡しください。
- 「据付(電気)工事説明書」に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 接続する機器に付属の「据付(電気)工事説明書」もあわせてご覧ください。

1. 安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容(禁止事項)です。
❗	実行しなければならない内容(強制事項)です。

⚠警告

据付(電気)工事をする前に

❗
- **据付(電気)工事は、お買い上げの販売店や専門業者に依頼する**(感電、火災の原因)
- **電気工事は、電気工事士が下記に従って行う**
  (感電、火災の原因)
  - **電気設備に関する技術基準**
  - **内線規程**
  - **据付(電気)工事説明書**

本体を据え付けるときに

⃠
- **分解や改造は行わない**(感電、火災の原因)
- **水洗いしない**(感電、故障の原因)
- **配線は、室内ユニットのリモコン配線用端子に接続し、その他の端子に 接続しない**(感電、故障の原因)
- **医療機器や自動制御機器(自動ドア、火災警報器など)の近くには据え付けない**
  (本機からの電波が機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因)

❗
- **据付工事は、「据付(電気)工事説明書」に従って行う**
  (感電、火災の原因)
- **電気工事は、室内・室外ユニットなどの配線用しゃ断器(ブレーカー)を 切ってから行う**(感電の原因)
- **据え付けは、重量に十分耐えられる所に確実に行う**
  (製品の落下、感電、火災などの原因)

⚠警告

本体を据え付けるときに

❗
- **付属品は当社指定の部品を使用する**
  (製品の落下、感電、火災などの原因)
- **配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブル の外力が伝わらないように確実に固定する**(故障や発熱、火災の原因)
- **配線をはさまないように、カバーは元通り確実に取り付ける**(感電、火災の原因)

⚠注意

⃠
- **次のような場所で使わない**(感電、火災などの原因)
  - **結露するところ**
  - **可燃性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **水や油(機械油含む)の飛沫の多いところ**
  - **酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところ**
  - **腐食性ガスなどの漏れるおそれのあるところ**
  - **有機溶剤の飛沫するところ**
  - **電圧変動の多いところ**
  - **ドレン配管近くなど、水滴が落ちるようなところ**
- **ぬれた手で操作しない**(感電、故障の原因)

❗
- **配線引込口をパテなどで塞ぐ**
  (露や虫が入り感電や故障の原因)
  (結露による基板故障の原因)

パナソニック HVAC & CCシステムズ株式会社
〒370-0596　群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号
© Panasonic HVAC & CC Systems Co., Ltd. 2024-2026

Printed in China
T0124-30426
ACXF60-49923

2. 仕様

品番		CZ-10RT5
外形寸法		（高さ）120 mm ×（幅）120 mm ×（ 奥行き）19.5 mm
質 量		190 g
使用温度・湿度範囲		0 ˚ C ～ 40 ˚ C・20 % ～ 80 % ※ 屋内設置専用
電源		DC16 V（室内ユニットより供給）
時計	**精度**	± 30 秒 / 月（常温 25 ℃） ※ 定期的に合わせてください。
	停電時の動作時間	72 時間（満充電時）※満充電に約 24 時間かかります。
リモコン配線の接続可能台数（室内ユニット）		8台まで （グループ制御時。熱交換気ユニット、天井埋込形ジアイーノ、天吊カセット形ジアイーノの台数を含む） ※ジアイーノはリモコン配線に 1 台のみ接続可能

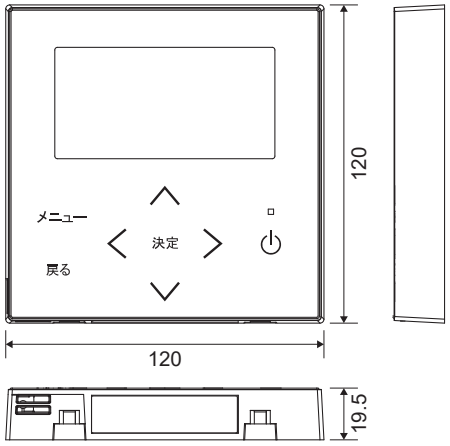
3. 付属品

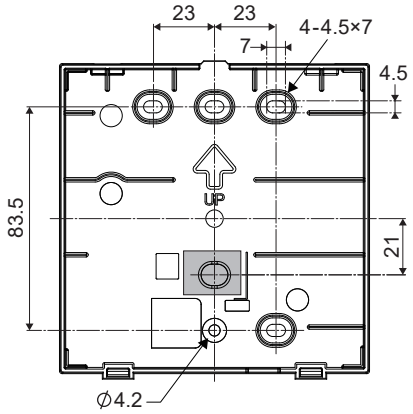
< > : 個数

小ネジ （M4 × 25） （ JIS ボックス据え付け用） < 2 >	木ネジ （M 3.8 × 16） （壁面据え付け用） < 2 >	結束バンド < 1 >
取扱説明書 （簡易版） < 1 >	据付（電気） 工事説明書 < 1 >	

※ リモコン配線は現地調達のため付属されていません。

4. 外形寸法図





単位 : mm

5. 据え付け時のご注意

● 次のような場所に据え付けない。
- 直射日光や直接外気が当たる、窓際など
- 過度な衝撃や振動のあるところ
- 据付面に凹凸があるところ
- 熱源の近くなど

● 床面から1 ～ 1.5mの高さに床面に対して垂直に据え付ける（室内の平均温度を感じる場所）

● 複数並べて据え付けるときは、左右5 mm、上下50 mm以上離す。

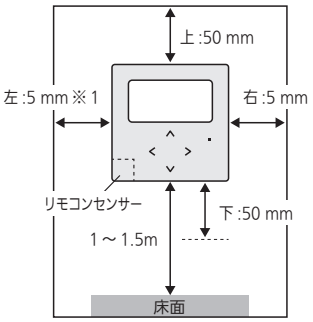
● 使用温度、湿度範囲を満たす場所に据え付ける。（「2.仕様」(P.2)）

● 高周波を発生する機器（インバーター機器、自家発電機、医療機器、無線通信機器）のあるところは避ける。（本機の誤動作や故障の原因になったり、それらの機器へ弊害を与える場合があります）

● テレビ、ラジオ、パソコンなどの機器から１m以上離す。（映像の乱れ、雑音の原因）

● 配線は、電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしない。（故障の原因）

● 配線は、地中に埋設しない。（落雷などにより、感電や火災、故障の原因）



※ 1 リモコンセンサーを使用する場合は、左を 50 mm 以上離す

6. リモコンセンサーを使用する場合

● 次のような場所に据え付けない。（検知温度と実際の室温に差が出るおそれがあるため）
- 室内の空気の流れから外れた、物かげや物の裏側
- 設置壁面と室温に温度差があるところ
- 室内ユニットの吹出し部からの冷風や温風が直接当たるところ

● 本機から左50 mm、上下50 mm以上の空間を設ける。

● 適切な位置にリモコンを設置できない場合は、リモートセンサーまたはIAQセンサーを使用する。

お知らせ

●リモコンセンサーはリモコン正面の左下にあります。
検知温度を安定させるため、上記の内容を守り据え付け場所を決めてください。
据え付け場所や使用環境により、検知温度が安定するまでに時間がかかる場合があります。

7. 配線のしかた

配線の仕様と接続可能台数

■配線の種類
柔軟性のある、0.5 ～ 1.25 mm² のケーブル（単線は使わない）
- シース部を含む絶縁物の厚みが 1 mm以上あるケーブル
- 推奨品：VCTF（EM-ECTF ※ 1）/ VCT（EM-OOCT ※ 1）

■総配線長
500m 以内
- グループ内にワイヤレスリモコンがある場合は、400m 以内

■室内ユニットわたり総配線長
200m 以内

■接続可能台数
- リモコン　：最多 2 個
- ユニット※2　：8 台まで

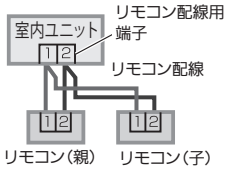
※ 1（）内はエコ電線記号。紫外線（日光・照明など）の影響を受ける場合は、遮光するか耐紫外線用を使う。
※ 2 ユニットは室内ユニットのほか、熱交換気ユニット、天井埋込形ジアイーノまたは天吊カセット形ジアイーノを含む。
熱交換気ユニット、ジアイーノを接続する場合でも室内ユニットが 1 台以上必要。

お願い
- ●誤って、室内ユニットの他の端子（電源配線用端子など）に接続しないよう、注意してください。（故障の原因）
- ●電源配線などとより合わせたり、同一金属管内に収納したりしないでください。（誤動作の原因）

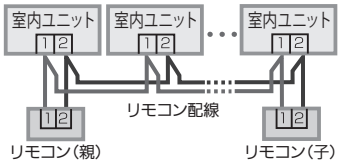
親・子リモコン制御について

1 台もしくは複数台の室内ユニットを 2 個のリモコンで操作することができます。
設置後、「9. 設定する」の「⑥ リモコン設定モード」（項目コード 01:「リモコン親子設定」）（P.6）を行い、片方を「親リモコン」、もう一方を「子リモコン」に設定してください。
CZ-10RT4C などの他リモコンと併用の場合は、本機を「親リモコン」に設定してください。

■ 室内ユニットが 1 台のとき

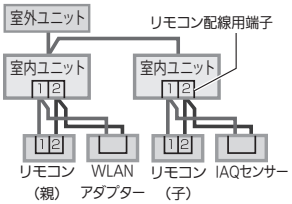


■ 室内ユニットが複数台のとき

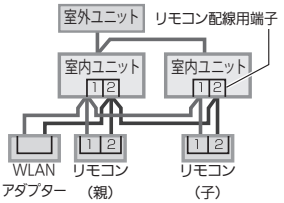


制御機器を 3 個以上接続する場合

■ オフィス・店舗用エアコン 7B シリーズの配線例



■ ビル用マルチ、ガスヒートポンプの配線例



■対象の室内ユニット
- オフィス・店舗用：7 シリーズ以降の室内ユニット
- ビル用マルチ：5 シリーズ以降の室外ユニットに接続できる室内ユニット
- ガスヒートポンプ：U 形以降の室外ユニットに接続できる室内ユニット

■配線の種類
柔軟性のある、0.5 ～ 1.25 mm² のケーブル（単線は使わない）
- シース部を含む絶縁物の厚みが 1 mm以上あるケーブル
- 推奨品：VCTF（EM-ECTF ）/ VCT（EM-OOCT ）

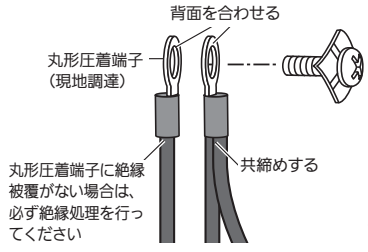
■総配線長
- 制御機器の接続台数
  3 個の場合　：300 m 以内
  4 個の場合　：200 m 以内

■室内ユニットわたり総配線長
200m 以内

■接続可能台数
- 制御機器　：最多 4 個
  WLAN アダプター：1 個まで
  IAQ センサー　：1 個まで
  リモコン　：最多 2 個
- ユニット　：8 台まで

リモコン配線用端子への配線方法

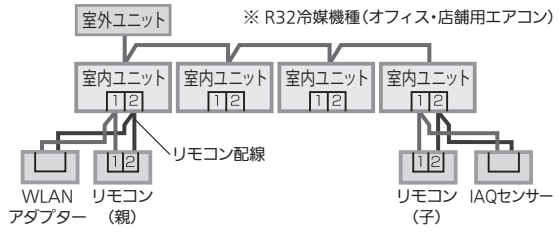
- リモコン配線用端子板に配線を 3 本接続する場合は、丸形圧着端子（現地調達）を使用し、1 つの丸形圧着端子に配線を 2 本共締めしてください。
- 共締めする配線は、同じ種類の配線を使用してください。
- リモコン配線用端子板のネジ径は室内ユニットによって異なるため、室内ユニットの工事説明書もあわせてご覧ください。



グループ制御（リモコンわたり配線）について

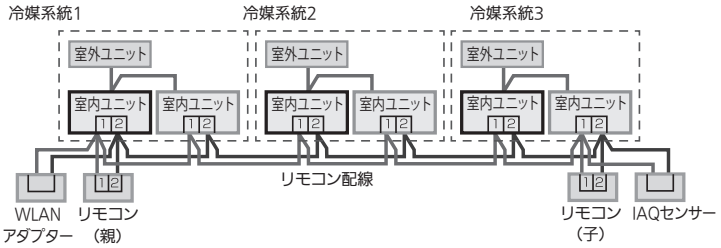
- ● R32冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内のリモコンわたり配線が不要です。
- ● 冷媒種にかかわらず冷媒系統が異なる場合、熱交換気ユニットや天井埋込形ジアイーノと混在する場合は、すべての室内ユニットに、リモコンわたり配線が必要です。
- ● R410A冷媒機種（オフィス・店舗用エアコン）は同一冷媒系統内であっても、リモコンわたり配線が必要です。

同一冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合



お知らせ
- ●制御機器を 3 個以上接続しても、動作します。
- ●どの室内ユニットに制御機器を接続しても、動作します。

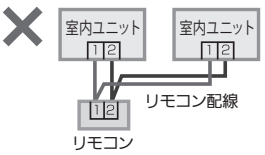
複数冷媒系統の室内ユニットをグループ制御する場合

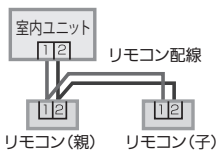


お知らせ
- ●どの室内ユニットに制御機器を接続しても、動作します。
- ●エコナビ対応と非対応の室内ユニットが混在する場合は、エコナビ対応の室内ユニットを、グループ制御の室内ユニット親機に設定する必要があります。

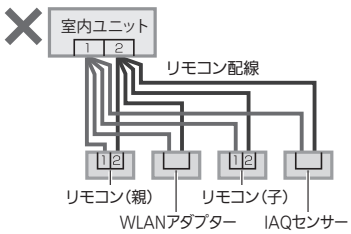
お願い
- ●手動で室内ユニットの親子設定を変更する場合、設置後、「9. 設定する」の「⑦ 詳細設定」（項目コード 14 :「室内ユニットの親子設定」）（P.7）を行ってください。

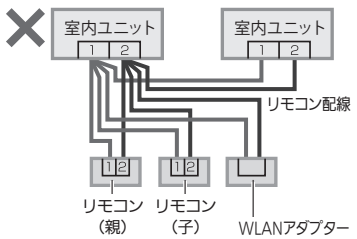
お願い
- ●以下のようなリモコンで渡る配線は禁止です。





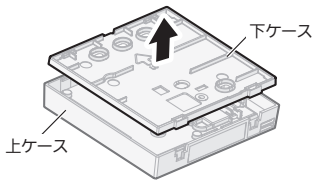
- ●室内ユニットのリモコン配線用端子に、4 本以上接続する配線方法は禁止です。





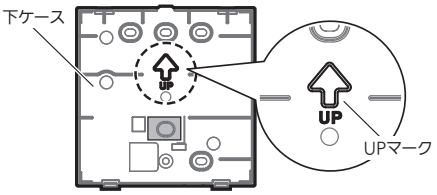
8. 据え付ける

1 下ケースをはずす



お願い

●下ケースは、UP マークが見えるように JIS ボックス、または壁に取り付けてください。

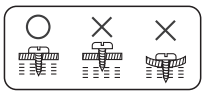


2 壁に取り付ける

配線埋め込み据え付けの場合

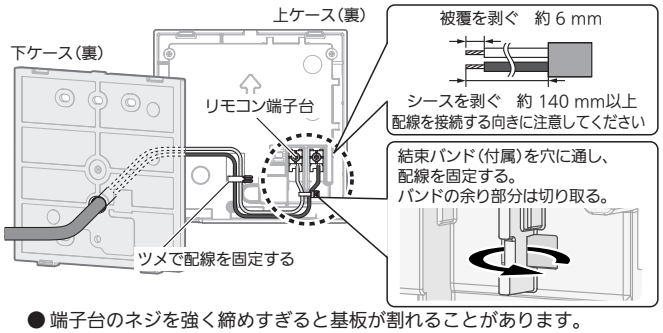
❶ 下ケースを JIS ボックスに取り付ける

●配線は、下ケース中央の穴と断熱シートに通しておく。
＊断熱シートは剥がさないでください。
●ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締める。
（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
●ネジは、締めすぎない。
（下ケースの変形による、落下の原因）



❷ リモコン配線を接続する

●上ケースの溝に配線を通し、配線をツメにはめ込む。



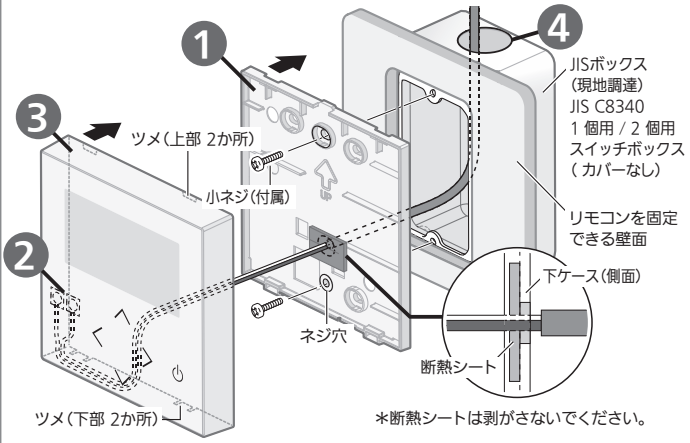
●端子台のネジを強く締めすぎると基板が割れることがあります。
・締め付トルク：0.23 ～ 0.33 Nm

❸ 上ケースを取り付ける

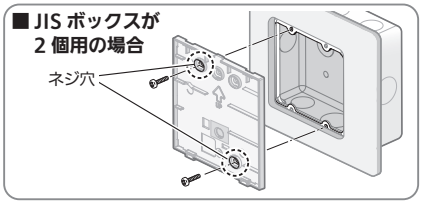
●上ケースのツメ（上部）を合わせてから、ツメ（下部）を合わせる。
●シースをリモコン内部に引き込んだまま、取り付けないでください。
（上ケースが取り付けられない原因）
●余分な配線をリモコンケースに収納したり、基板上の部品に配線が触れないようにしてください。（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）

❹ 配線引込口の根本部分をパテなど（現地調達）で塞ぐ

■据え付け図



■JIS ボックスが 2 個用の場合

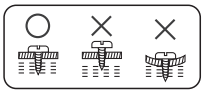


配線露出据え付けの場合

準備：上ケースの上部を切り取り、配線引き出し口を用意しておく（「据え付け図」参照）

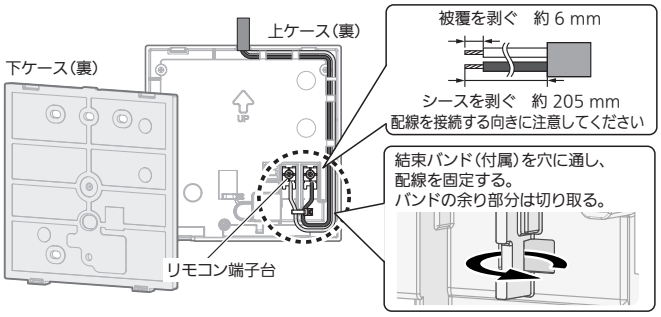
❶ 下ケースを壁に取り付ける

●ネジは、下ケースにあたるまでしっかり締める。
（上ケース取り付け時に、ネジ頭が基板にあたり、故障の原因）
●ネジは、締めすぎない。
（下ケースの変形による、落下の原因）



❷ リモコン配線を接続する

●上ケースの溝に配線を通し、配線をツメにはめ込む。



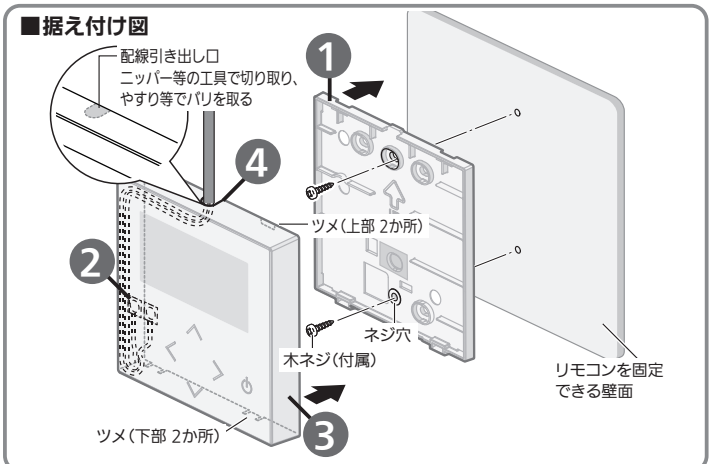
●端子台のネジを強く締めすぎると基板が割れることがあります。
・締め付トルク：0.23 ～ 0.33 Nm

❸ 上ケースを取り付ける

●上ケースのツメ（上部）を合わせてから、ツメ（下部）を合わせる。
●余分な配線をリモコンケースに収納したり、基板上の部品に配線が触れないようにしてください。（配線はさみ込みによる基板破壊の原因）

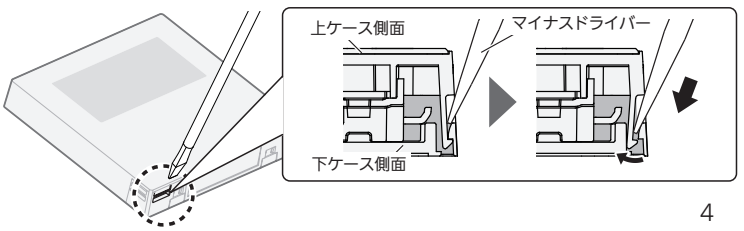
❹ 配線引き出し口の根本部分をパテなど（現地調達）で塞ぐ

■据え付け図



据え付け後に下ケースを取りはずす場合

●マイナスドライバーを下ケースのツメの傾斜に沿って軽く押してください。



9. 設定する

準備：室内ユニットの説明書を参照し、事前に配線用しゃ断器（ブレーカー）を入れてください。リモコンが起動し、「構成確認中」の表示が消えるまでお待ちください。
※ 10 分以上「構成確認中」が点滅表示する場合は、室内ユニットのアドレス設定を見直してください。
目的に応じて「リモコン設定」（P.5）、「リモコンメンテナンス設定」（P.6 ～ 7）の項目①～⑨を参照してください。

「リモコン設定」（P.5）			
現在日時を設定するとき	▶	① 時計設定	P.5（下記）
リモコンの名称を設定するとき	▶	② リモコン名称設定	
トップ画面の表示モードを切り替えるとき	▶	③ 表示モード	
トップ画面に表示する空気質情報の設定をするとき	▶	④ 待機画面表示情報	

「リモコンメンテナンス設定」（P.6 ～ 7）			
サービスの連絡先を登録/変更するとき	▶	⑤ サービス連絡先登録	P.6
リモコンの設定をするとき	▶	⑥ リモコン設定モード	
室内ユニットと熱交換気ユニットの設定をするとき	▶	⑦ 詳細設定	P.7
リモコンから室内ユニット/室外ユニットのアドレスを設定するとき	▶	⑧ 自動アドレス設定	
集中制御アドレスの設定をするとき（集中制御機器を接続をする場合）	▶	⑨ 簡単設定	

リモコン設定

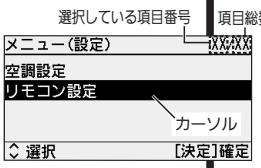
1 「メニュー」を押す

お知らせ
- ●手袋を着けた状態では、操作できません。
- ●スタイラスペン、タッチペン等では、操作できません。
- ●接続する室内ユニットによっては、液晶画面の表示が異なる場合があります。

2 「リモコン設定」を選ぶ

△ ▽ → 決定

※ 空調機のみ接続の場合、メニュー（操作・設定）画面が表示されません。



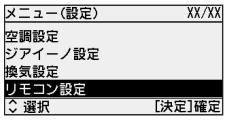
ジアイーノまたは換気、もしくは両方接続されている場合

2-1 メニュー画面から設定画面に切り替える

- トップ画面からメニューを押す
- ＜ ＞で「設定」選び、決定を押す

2-2 リモコン設定画面に切り替える

- △ ▽で「リモコン設定」を選び、決定を押す



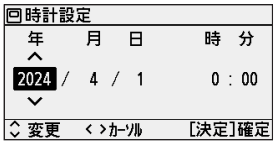
3 設定する項目を選ぶ

△ ▽ → 決定

4 設定を変更する

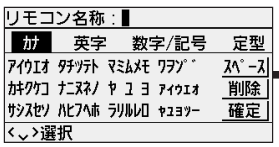
① 時計設定

△ ▽ ＜ ＞ → 決定

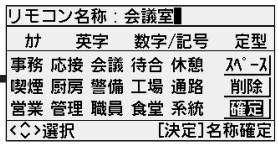


② リモコン名称設定

△ ▽ ＜ ＞ で選び、決定で入力する



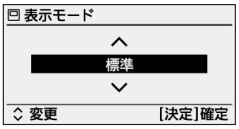
△ ▽ ＜ ＞ で「確定」を選び、決定を押す



③ 表示モード

- 3 つのモード（簡易、標準、詳細）の中から選んでください

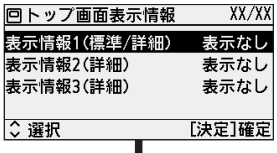
△ ▽ → 決定



（出荷時設定）

④ トップ画面表示情報

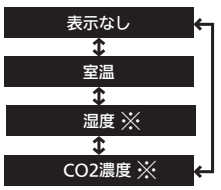
- トップ画面に表示する空気質情報の設定をします。
- 「③表示モード」で「標準」または「詳細」を選んだときに、設定した項目が表示されます。
- 表示できる項目は、室温 / 湿度 /CO2 濃度です。
- 出荷時設定は、すべて「表示なし」です。



△ ▽ → 決定

- 表示情報 1（標準 / 詳細）：室温 / 湿度 /CO2 濃度 / 表示なし
- 表示情報 2（詳細）：室温 / 湿度 /CO2 濃度 / 表示なし
- 表示情報 3（詳細）：室温 / 湿度 /CO2 濃度 / 表示なし

△ ▽ → 決定



※湿度と CO2 濃度の数値は、IAQ センサーと接続されている場合に表示されます。

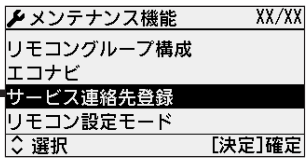
リモコンメンテナンス設定

1 **3 つのボタンを同時に 4 秒以上を押す**

「メンテナンス機能」モードに移行

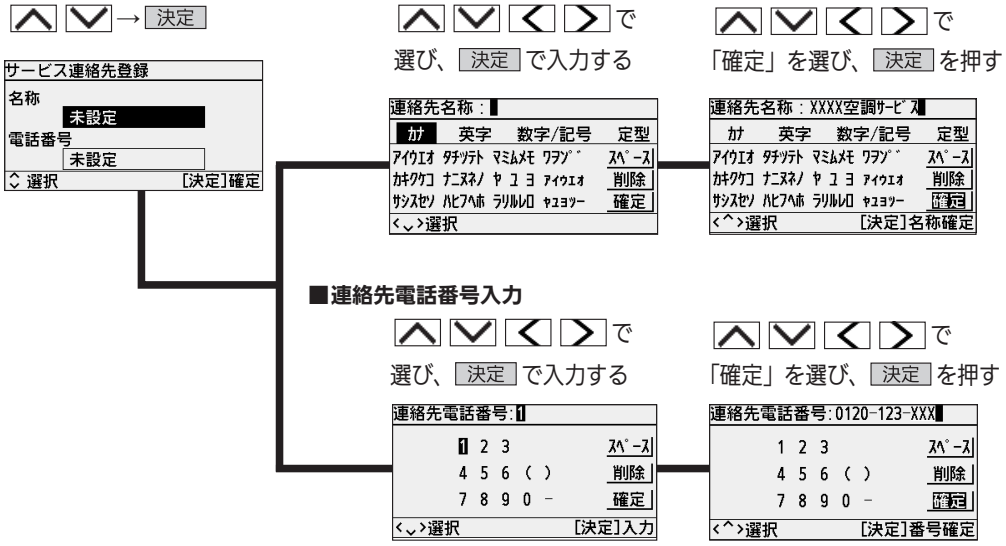
2 **選択する項目を選ぶ**

△ ▽ → 決定



3 **設定を変更する**

⑤ サービス連絡先登録



※ 文字入力のしかた

■ 文字種を変更するとき
△ ▽ ◁ ▷ で文字種を選び、決定

■ 定型の名称から選ぶとき
△ ▽ ◁ ▷ で「定型」を選び、決定

■ スペースを入力するとき
△ ▽ ◁ ▷ で「スペース」を選び、決定

■ 1 字消すとき
△ ▽ ◁ ▷ で「削除」を選び、決定

※ 全角 8 文字 / 半角 16 文字まで入力可能。（スペースも文字数に含む）

⑥ リモコン設定モード

項目コード / 設定データを選択する

△ ▽ ◁ ▷ → 決定

お知らせ

●リモコン設定は、設定終了後に再起動を行います。

項目コード（リモコン設定モード）			設定データ
01	リモコン親子設定	リモコンを 2 個設置するとき	・0000：子 ・0001：親（出荷時設定）
2F	パスワード設定	管理者パスワードを設定するとき ※管理者パスワードを変更した場合は、管理者にご連絡ください。	・0000 ～ 9999 ・0000（出荷時設定）
2B	ジアイーノ・熱交換気連動設定	空調機の運転 / 停止によって、接続しているジアイーノまたは熱交換気ユニットの運転 / 停止を連動させるとき	・0000：連動なし（出荷時設定） ・0001：熱交換気ユニット連動あり ・0003：ジアイーノ連動あり ・0004：熱交換気ユニット・ジアイーノ連動あり
21	発電表示切替	発電機能付きのガスヒートポンプエアコン（GHP）と接続するとき	・0000：表示機能無効（出荷時設定） ・0001：表示機能有効

次ページに続く

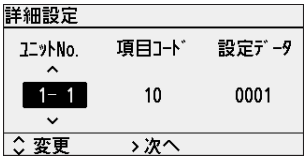
9. 設定する （つづき）

リモコンメンテナンス設定

⑦ 詳細設定

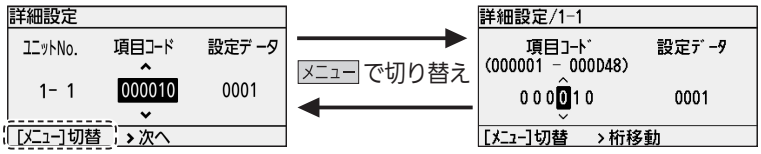
ユニット No.・項目コード・設定データを選択する

△ ▽ ◁ ▷ → 決定



■項目コードが 6 桁表示の場合

桁ごとにコード選択が行える画面に切り替えることができます。



- リモコン画面に「[メニュー] 切替」が表示されている状態で、メニュー を押す
- 桁移動 ◁ ▷
- コード選択 △ ▽

メニュー を押すと詳細設定画面に戻る

お知らせ

- ●熱交換気ユニットのユニット No. は「31－XX」になります。
- ●詳細設定は、設定終了後に再起動を行います。
- ●室内ユニットの機種によっては、項目コードが 6 桁で表示される場合があります。（右記参照）

項目コード（詳細設定）			設定データ
14	室内ユニットの親子設定	グループ制御時に室内ユニットの親子設定をするとき	・0001：親機 ・0002：子機
31	換気扇との接続	室内コントロール基板上の換気扇出力『FAN DRIVE：2P（白）』に市販の換気扇等を接続するとき ※ 専用配線（別売品）が必要	・0000：接続なし ・0001：接続あり
32	室温センサー設定	室内温度を検知する温度センサーを設定するとき ※ 親・子リモコン制御時に、「リモコン側」に設定している場合は、親リモコンのセンサーが有効になります。 ※ リモートセンサー併用時は、設定データにかかわらず、リモートセンサーが有効になります ※ ビル用マルチのグループ制御時は、「室内ユニット側」で使用することを推奨します。	・0000：室内ユニット側 ・0001：リモコン側 ・0002：IAQ センサー （IAQ センサー対応機種のみ設定可）
D7	熱交換気連動設定 ※ 熱交換気ユニットの設定項目になります。	室温・外気温を検知し、普通換気と熱交換気を自動で切り換えるとき （「換気モード」が「自動換気」のときのみ）	・0000：オフ ・0001：オン
2E5	銀イオン交換サイン表示設定 ※対応可能機種のみ	銀イオン抗菌剤の交換サインを表示するとき （表示にすると、「ユーザーメンテナンス」画面に「銀イオン抗菌剤」の項目が表示されます。 また、銀イオン抗菌剤の交換時期になると、トップ画面にアイコンが表示されます）	・0000：非表示 ・0001：表示

お願い

- ●銀イオン交換作業はサービス専門業者様への依頼となり、有料となる旨説明を行ってください。

⑧ 自動アドレス設定

お願い

- ●室外ユニットの 電源を入れ、90 秒以上たってから行ってください。
- ●自動アドレス設定を行ったあとは、90 秒以上 たってから運転してください。

お知らせ

- ●自動アドレス設定は、設定終了後に再起動を行います。

項目コード「A1」/ 系統 No. を選択する

△ ▽ ◁ ▷ → 決定

項目コード（自動アドレス設定）			系統 No.
A1	自動アドレス設定	自動アドレス設定とは、室内ユニットと室外ユニットの間を系統アドレス毎に自動で関連付けする操作です。 自動アドレスをする系統（室外ユニット）の系統番号を選んでください。	・室外ユニットの系統番号

⑨ 簡単設定

お願い

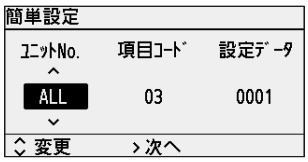
- ●集中制御アドレス設定は自動アドレス設定終了後に行ってください。
- ●接続する集中制御機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

お知らせ

- ●簡単設定は、設定終了後に再起動を行います。

ユニット No.「ALL」/ 項目コード「03」/
設定データを選択する

△ ▽ ◁ ▷ → 決定



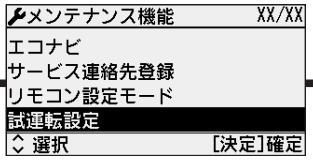
項目コード（簡単設定）			設定データ
03	集中制御アドレス設定	集中制御機器を使用するとき	・0001 ～ 0064

10. 試運転を開始する

1 3つのボタンを同時に4秒以上押す

2 「試運転設定」を選ぶ

△ ▽ → 決定

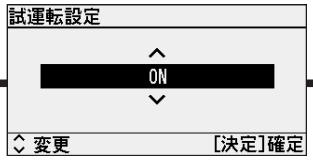


3 「ON」を選ぶ

（試運転モードになる）

△ ▽ で「ON」を選び、

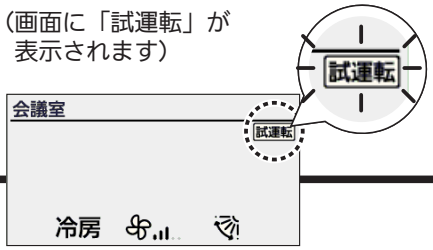
決定 を押した後、 戻る を押す



4 試運転する

⏻ を押す

（画面に「試運転」が表示されます）



5 試運転を終了する

手順 1・2 を行い、手順 3 で「OFF」を選ぶ。

（「試運転」表示消灯）

お願い

●試運転以外の目的には使わないでください。
（室内・室外ユニットに無理がかかるため）

お知らせ

●暖房および冷房で試運転できます。温度変更はできません。
●連続試運転を防止するため 60 分後自動で「オフ」になります。
●電源投入後および運転停止後、約 3 分間は室外ユニットの運転はしません。